

「サラリーマンお小遣い診断所」に205名が来場！！
賢くお金を管理したいが上手な方法を知らない「やる気は人一倍型」が最多
「デビットカード」を知らなかった人の約4割が「デビットカードを所有したい」と回答

ビザ・ワールドワイド(以下Visa、代表取締役:ジェームス・ディクソン、所在地:東京都千代田区)がファイナンシャルプランナーの横山光昭氏監修の元、「JR品川駅」にて8月末に1日限定で開設した「サラリーマンお小遣い診断所」には、205名のサラリーマンが来院。当日カウンセリングを受けたサラリーマンの診断結果及びアンケートからは、以下のような実態が判明しました。

●お金の使い方分析では、賢くお金を管理したいが上手な方法を知らない「やる気は人一倍型」が最多

●診断後のアンケートでは、「デビットカード」を知らなかった人の約4割が「デビットカードを所有したい」と回答

●約2人に1人がデビットカードの「銀行口座に直結し、利用ごとに即時引き落としされる点」を好評価

今回のカウンセリングを受けたサラリーマンからは「自分自身の適正なお小遣い額について知ることはなかったので、カウンセリングは良い気付きになった」、「この診断書を持ち帰って、妻とお小遣いを含めて家計の見直しを行いたい」などの声があがりました。また、今回のイベントについて監修をした横山氏は、イベントでのカウンセリング及び、集計された診断結果とアンケート結果を受けて、「多くの方は小遣いを増やしたいと思っていますが、家計や教育費、老後などを考えると、現状で我慢せざるを得ないと納得しているようです。ですから、小遣いは賢く使いたいと思う人が多かったのでしょう。ですが、まだ浪費や豪遊しがちな人も多いようでした。限られた額の小遣いですから、後払いなどには頼らず、Visaデビットカードなどを利用して賢く使ってほしいですね。」とコメントしました。

■イベント風景



＜来場者205名の診断及びアンケート結果＞

●お金の使い方分析では、賢くお金を管理したいが上手な方法を知らない「やる気は人一倍型」が最多

横山氏監修・制作の「サラリーマンお小遣い診断ツール」によって導き出される「お金の使い方分析」では、日常のお金の使い方や金銭感覚を判定する質問に答えることで、9つのタイプにカテゴライズされます。今回の「サラリーマンお小遣い診断所」に来院したサラリーマンのお金の使い方分析では、お金を賢く管理したい意識はあるものの、上手な管理方法が身につけていない「やる気は人一倍型」が最多となり、お金の無駄遣いが多い傾向にある「浪費型」が2位、浪費型よりもさらに節約意識が低い傾向にある「豪遊型」が3位という結果になりました。

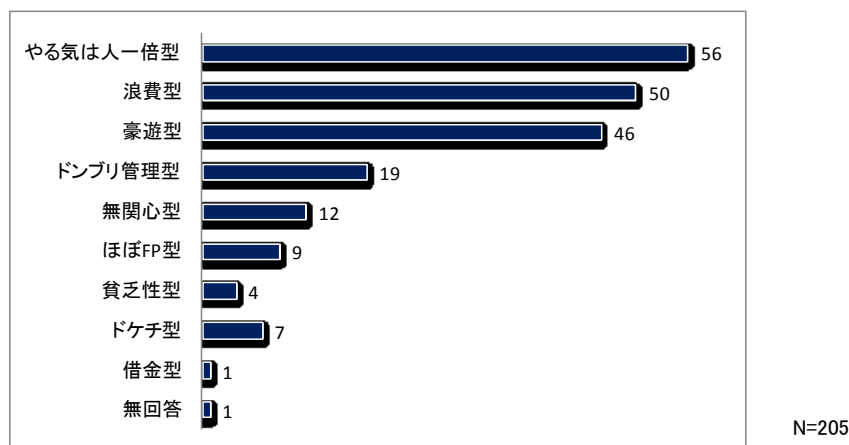


図 1:お金の使い方分析結果

カテゴリ名	カテゴリの解説
借金型サラリーマン	お金に対する意識改善が今すぐ必要です。お近くのファイナンシャルプランナーにご相談ください。
豪遊型サラリーマン	「パーっと使うことが快感」お金を使いたくてたまらないタイプ。とにかく勢いでお金を使うその瞬間が楽しい。月末の請求書を見るまで危険状態に気付かないことが多い。今すぐ治療が必要なタイプ。
浪費型サラリーマン	「節約意識ゼロ」手の届く範囲なら値札を気にしない。月末でも平気でクレジットカードを使用する。敢えて高いモノを買おうと言う意識は低いものの、計画的にお金を使う意識が低く、目の前の誘惑に負けてしまいがちなタイプ。
ドンブリ管理型サラリーマン	小さな差だったら高い方に抵抗なく消費。「お金を貯めたい」「クレジットカードは控えたい」意識はあるものの、ユルさがあるため中々管理が上手いれない、改善の余地があるタイプ。
やる気は人一倍型サラリーマン	「詰めが甘いお小遣い管理」節約したい、お金を賢く使いたいという気持ちはあり実践できている部分もあるものの、管理の方法にムダやムラのある部分がある、おしいタイプ。賢い管理を身につけるポテンシャルは持ちながらもあと一歩が踏み出せない。
貧乏性型サラリーマン	「不器用な儉約家」目の前の誘惑に負けることなく、お金の浪費をセーブできる。一方で、購入の判断基準が安さになることが多く「安物買いの銭失い」状態に陥ることもしばしば。
ドケチ型サラリーマン	「安い正義」お金を使うことがストレス。お金を貯める意識よりは、減らしたくない意識が強い。とにかく安く済ませることに喜びすら感じるタイプ。
ほぼFP型サラリーマン	「マルチリ上手の管理タイプ」自身の収入を把握し、収入内で生活を完結させるべく、家計の管理意識を常に持って行動。収入の範囲内で取り込む趣味があるなど、ケチも浪費もしない家計管理の優等生。
無関心型サラリーマン	「物欲ありません」ショッピングなどでお金を消費することに興味がない。一方で我慢してでも将来手に入れたいモノがあるわけでもない、お金に無関心なタイプ

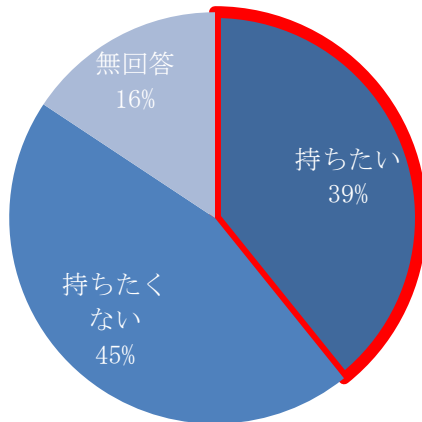
※横山光昭監修・制作「サラリーマンお小遣い診断ツール」より引用

●診断後のアンケートでは、「デビットカード」を知らなかった人の約4割が「デビットカードを所有したい」と回答

診断後に実施したアンケートにて、「デビットカード」の認知について聞いたところ、3/4にあたる154人が「デビットカード」を既に知っていると回答しました。また、知らなかったと回答した51名の内、約4割が「デビットカード」を所有したいと回答しました。今回の診断で、お小遣いの適正額と自身のお金の使い方を分析され、「デビットカード」の特徴を知った上で、今後のお金の管理を見直す一つのツールとして所有したいという意向が伺えます。

Q:「デビットカード」を所有したいと思いますか？(N=51)

※N=「デビットカードを知らない」回答者



●約2人に1人がデビットカードの「銀行口座に直結し、利用ごとに即時引き落としされる点」を好評価

来場したサラリーマン205名に対してデビットカードの特徴を説明したうえで、興味を持った点について聞いたところ、最も多い回答で約2人に1人にあたる、102人が「銀行口座直結のカードで、利用ごとに即時引き落としされる点」と回答し、続いて、「ATMから現金を引き出す手間が省ける点」を68人、「銀行口座の預金残高の範囲内で使用できる点」を65人が興味を持つと回答したことが分かりました。さらに、診断ツールによって判明した9種類のタイプごとに興味を持ったデビットカードの特徴を比較した結果、お金を上手に管理している傾向が非常に高い「ほぼFP型」では、お金の管理をサポートする「銀行口座直結のカードで、利用ごとに即時引き落としされる点」、「預金残高の範囲内で使用できる点」について関心が多く集まりました。一方で、節約意識が低い傾向にある「豪遊型」と診断された人では、「ATMから現金を引き出す手間が省ける点」と応えた人が「ほぼFP型」の2倍以上いることが分かり、日常のお金の使い方タイプにちなんだデビットカードの特徴を好む傾向が伺えました。